

---

# 名古屋駅周辺まちづくり構想

---

## (素案)

平成26年3月 名古屋市



---

## 目次

### 第1章 はじめに

- 1. はじめに . . . 1
- 2. 構想の目的 . . . 1
- 3. 構想の対象範囲 . . . 2

### 第2章 まちづくりの基本方針

- 1. 背景・課題 . . . 3
- 2. 目標とするまちの姿 . . . 5
- 3. まちづくりの基本方針 . . . 5

### 第3章 まちの姿の実現に向けた取組み

- 1. 基本方針1 . . . 9
- 2. 基本方針2 . . . 19
- 3. 基本方針3 . . . 31
- 4. 基本方針4 . . . 42

### 第4章 構想の実現に向けて

- 1. 構想の実現に向けた基本的な流れ . . . 44
- 2. 主要プロジェクトのスケジュールイメージ . . . 45

### 参考資料

- 1. 現状と課題 . . . 48
- 2. アンケートの概要 . . . 54

# 第1章 はじめに

## 1. はじめに

- 名古屋駅は、多くの交通機関が集中する交通結節点であり、JRセントラルタワーズの建設以降、大規模な開発が続いており、商業・業務機能などの集積が進んでいます。
- 駅については、戦前に国鉄名古屋駅が現在の位置に移転されて以降、各鉄道が駅周辺の限られた空間に設けられてきたことから、複雑な駅の形態になっています。
- 平成39年度にはリニア中央新幹線（以下、「リニア」とする。）の東京—名古屋間が開業予定であり、リニア名古屋市ターミナル駅が名古屋駅の地下に設置され、名古屋駅の拠点性や利便性がさらに高まることとなります。
- リニアについては、現在、事業着手に向けた手続きが進められており、さらに名鉄名駅再開発計画が動き出すなど、駅前が大きく変貌することとなります。
- 名古屋駅周辺が名古屋大都市圏の玄関口として圏域を牽引しながら継続的に発展していくには、この機会に、これまでの課題を解消し、リニア駅の駅前にふさわしい空間の形成を進めることが必要となります。
- 本構想は、リニア開業を見すえ、鉄道事業者を始め多様な主体が連携してまちづくりを進めていくうえで、共有すべき目標像やその実現に向けた取組みを明らかにするものです。

### ◆リニア中央新幹線の路線

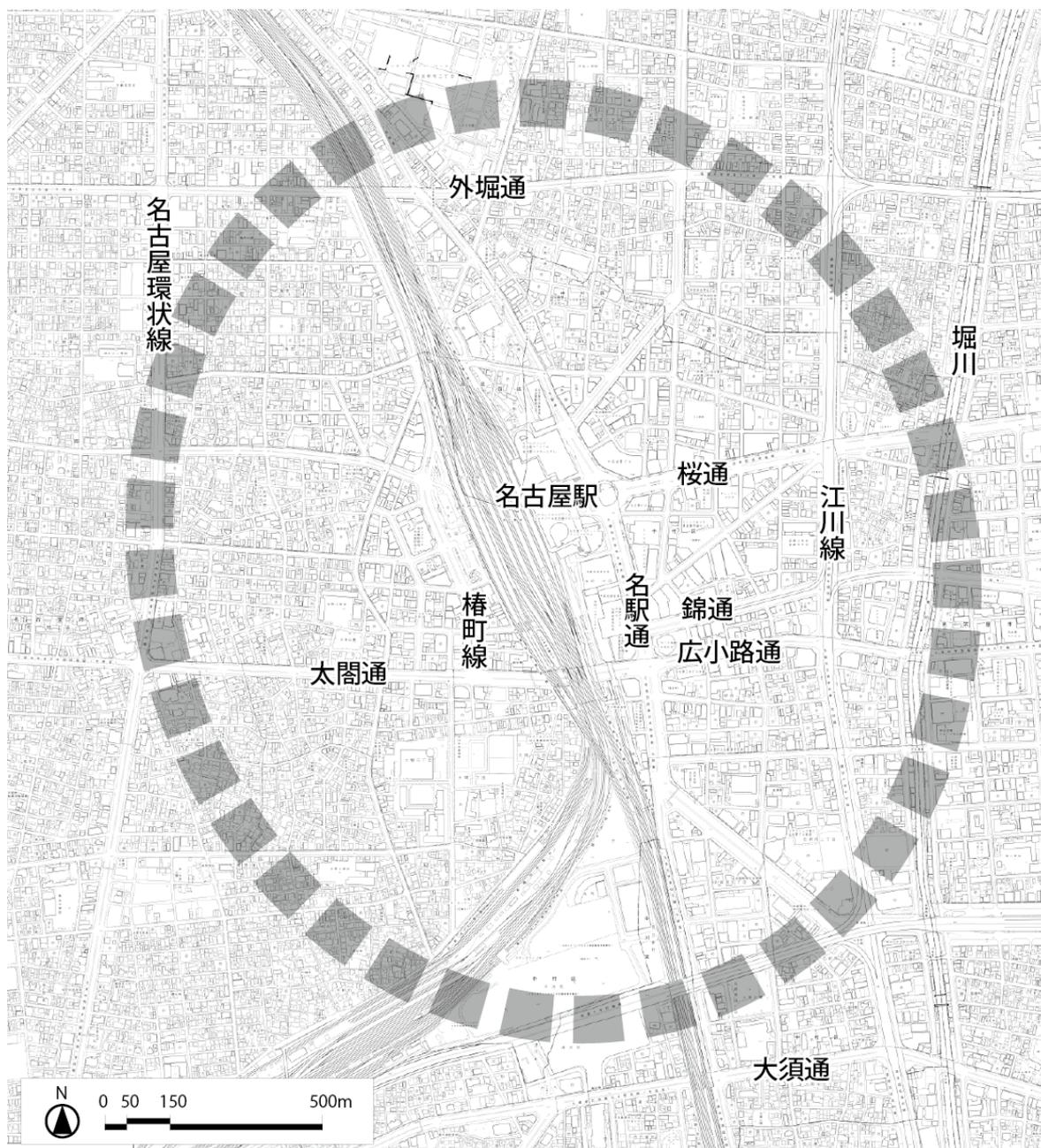


## 2. 構想の目的

- リニア開業後のまちを見すえた概ね15年後を目標年次とします。
- 多様な主体がまちづくりを進めるための共通目標となる基本方針と具体的な取組みを明らかにします。
- リニアが整備されることにより、特に、まちづくりに必要とされることを中心に取りまとめます。

### 3. 構想の対象範囲

- 名古屋駅を中心に下図に示す円で囲まれた区域を概ねの対象範囲としています。



## 第2章 まちづくりの基本方針

### 1. 背景・課題

#### 広域交通網の更なる充実

- ・リニア開業により名古屋駅の交通の拠点性が一層高まることとなります。
- ・東京から名古屋への移動時間が現在の約1時間40分から約40分に短縮されることになり、名古屋から周辺都市への速達性の向上が求められます。
- ・交流圏域が広がることになり、名古屋駅を利用する人の増加が想定されます。
- ・リニア開業時には、新東名高速道路などが完成しており、さらに充実した高速道路ネットワークが形成されています。

#### 都市圏の構造の変化

- ・東京と一体化した巨大都市圏を形成して日本の国際競争力を大きく向上させる好機となります。
- ・ものづくりの圏域の中心都市としての役割や中部圏における観光拠点としての役割が一層高まります。

#### 大都市圏の玄関口としての駅前空間

- ・日本有数のターミナル駅にふさわしい風格や魅力が十分ではありません。特に、駅西側では大規模な再開発がなされておらず、高度利用が十分に進んでいない状況です。
- ・人が集い、憩える広場空間が不足しています。

#### 災害に対する安全性

- ・南海トラフ巨大地震などの大規模地震による被害の発生や、帰宅困難者の名古屋駅への集中が危惧されています。
- ・大雨による浸水被害の発生がみられます。
- ・建設後長期間経過し、複雑でわかりづらい地下街・地下空間の安全性が懸念されています。

#### ターミナル駅としての機能

- ・各鉄道が平面的・立体的に入り組んでおり、初めての来訪者にはわかりづらいものとなっています。
- ・交通施設間の乗換は、複数の動線が交錯している上、動線上の段差が多く、歩行者交通量も多いことから、スムーズにできません。

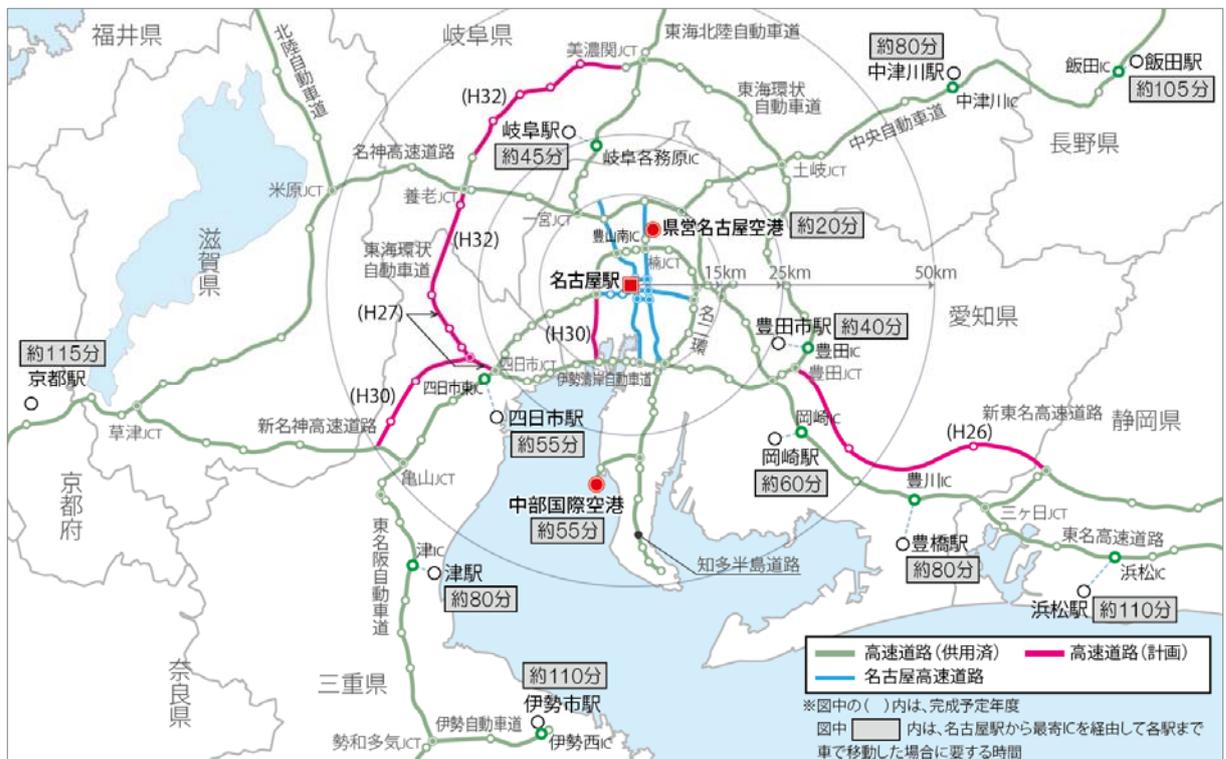
#### まちの魅力と連続性

- ・栄や名古屋城等は、名古屋駅周辺にはない魅力がありますが、名古屋駅からの回遊性は高くありません。
- ・区画道路は、歩道幅員が狭いあるいはないものも見られ、ゆとりある歩行者空間としては十分ではありません。
- ・公園・緑地が少なく、まとまった緑はほとんどありません。

◆ 広域鉄道ネットワーク



◆ 広域道路ネットワーク



## 2. 目標とするまちの姿

### 世界に冠たるスーパーターミナル・ナゴヤ

～国際レベルのターミナル駅を有する魅力と活力にあふれるまち～

高いレベルの機能性を備えたまちづくりを着実に進めるとともに、広く叡智を集め、世界の人々が集まり、魅了し続けるまちを目指します。

## 3. まちづくりの基本方針

- ・目標とするまちの姿の実現に向け、以下に示す4つの「基本方針」にもとづき、まちづくりを進めます。

### 【基本方針1】国際的・広域的な役割を担う圏域の拠点・顔を目指す

#### (1) 国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成する

- ・リニア開業を契機に、名古屋大都市圏が国際競争力を高め、圏域全体が発展していくため、都市圏の玄関口である名古屋駅周辺に都市機能のさらなる集積を進め、国際的・広域的なビジネス拠点・交流拠点を形成します。

#### (2) 玄関口にふさわしい風格と賑わいを感じさせる顔づくりを進める

- ・リニアを始めとする大きなプロジェクトが動くこの機会をとらえ、名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい日本屈指の象徴的な駅・駅前空間を形成します。

#### (3) ビジネス拠点・交流拠点にふさわしい安全性を確保するとともに、環境負荷の少ないまちを形成する

- ・国際的・広域的なビジネス拠点として、海外の企業からも安心して進出してもらえる防災性能の確保と、日本有数のターミナル駅として大規模災害発生時の安全性の向上を図るとともに、環境負荷の少ないまちづくりを推進します。

## 【基本方針2】誰にも使いやすい国際レベルのターミナル駅をつくる

### (1) 初めての人や外国人にもわかりやすいターミナル駅を形成する

- ・リニア開業により日本有数のターミナル駅として国内外から来訪者が一層増えることから、誰もが移動しやすい乗換動線を確保するとともに、わかりやすい乗換空間を形成します。

### (2) リニアの速達性を活かすなど交通機関相互の乗換利便性を向上する

- ・リニア開業と周辺の民間再開発に伴う乗降客の増加により、ターミナル駅としての役割が高まるとともに、高齢化の進展などにより乗換利便性の向上が一層求められることから、鉄道や自動車交通などの迅速・円滑な乗換を確保します。

## 【基本方針3】都心における多彩な魅力をもったまちをつくり、つないでいく

### (1) 城下町から超高層ビル群まで新旧織り交ぜた多様なまちの魅力を育て、活かす

- ・名古屋駅周辺には、様々な特性を持った地域資源が存在していることから、それぞれの地区において特色のあるまちづくりを進め、地区の魅力を高めます。

### (2) 人が主役の歩いて楽しい空間を形成し、回遊性を高める

- ・駅とまち、まちとまちをつなぎ、回遊性を高めるため、歩行者空間を重視したまちづくりを進めるとともに、栄、名古屋城などとの連携を強化します。

## 【基本方針4】リニア開業を見すえ、行政と民間が一丸となって着実に構想を実現する

- ### (1) まちづくり構想を実現するため、行政がリーダーシップを発揮するとともに、行政と民間、民間相互など様々な主体が連携・協働してまちづくりを推進する

